

令和2年3月31日

令和元年度 域学連携交流に関する調査・研究業務
調査等活動報告書

令和元年度に貴町から受託した業務につきまして、下記の通り報告いたします。

記

1 実施した活動

- (1) 令和元年度特定健康診査 受診率向上に向けた案内チラシ・ハガキの作成
- (2) 京都・土庄むすびわざ大学の開催
- (3) Web カメラを利用した講座の実施

2 活動内容

(1) 令和元年度特定健康診査 受診率向上に向けた案内チラシ・ハガキの作成

土庄町が実施する特定健康診査の受診率向上に向け、土庄町健康増進課と連携し、受診案内のチラシおよびハガキを作成した。京都産業大学 現代社会学部 濱野強教授が案内内容を監修し、受診の必要性や受診のしやすさを訴える案内を作成した。

- ①5月 案内チラシ作成 A4 カラー 1,800枚
- ②7月 受診勧奨用ハガキ作成 2,738枚
- ③8月 受診勧奨用ハガキ作成 2,640枚
- ④10月 受診勧奨用ハガキ作成 2,113枚

(2) 京都・土庄むすびわざ大学の開催

- ①日時 2019年6月23日(日) 13時～15時30分
- ②場所 土庄町総合会館(フレトピアホール)
- ③参加者 260人
- ④大学出席者 学長 大城光正
学長補佐/法学部 教授 山田啓二
現代社会学部 教授 濱野強
現代社会学部 助教 塩谷芳也

生命科学部 教授 木村成介

現代社会学部学生 10 人

サイエンスコミュニケーション研究会サングラス学生 9 名

社会連携センター事務室 事務長 水野健児

社会連携センター事務室 事務長補佐 高橋誠

社会連携センター事務室 主任 桑名美幸

スポーツ強化推進事務室 主任 宮川由樹子（前任者）

⑤内容

2019 年 6 月 23 日（日）、本学が包括連携協定を締結している香川県小豆郡土庄町と共催で、土庄町総合会館を会場に「京都・土庄 むすびわざ大学」を開催した。

2017 年に第 1 回を開催し、今回が 3 回目となる本イベントでは、土庄町と京都産業大学を「むすんで、うみだす」をテーマに、元京都府知事で学長補佐でもある山田啓二 法学部 教授による講演会の他、土庄町でフィールドワークを行っている現代社会学部によるセミ発表や、科学の楽しさを伝える科学体験イベントなどを開催し、約 260 人が参加した。

講演会では、法学部 山田啓二 教授が「土庄町の観光を考える」と題し、2045 年少子高齢化が更に進み人口が減ってきた時にどうすれば土庄町・小豆島が元気になれるかということ、数々の資料やユーモアを交えながら講演した。

様々な人が外部から入り、その人達と話をしたり、その人が地域で買い物をしてくれたり、移住してきたりしてくれることで、小豆島の会話が増え、消費や人が増える。観光というのは人が遊びに来るだけではなく、地域に新しい人が来ることによって元気を生み出みだすもの、観光は元気の源であるとし、これから土庄町・小豆島は生きていくためには観光というのは単に産業というだけでなく、元気に暮らせるかどうかの大きな機会ですと言ひ、土庄町・小豆島にとって観光をいうものの大切さを説明した。

また、小豆島がやらなければならないこととして、官民一体となって力合わせてポストをつくること、その上で具体的かつ明確なデザインのビジョンをつくること、小豆島の土地を大胆に変えた政策をうつこととし、知事時代の京都の事例を紹介しながら、具体的な手法を提案した。

講演会終了後には、現代社会学部 濱野強ゼミが「みんなで築く新・土庄町」、塩谷芳也ゼミが「小豆島島鱧のブランド化推進：2018 年度塩谷ゼミ活動報告」というテーマで、ゼミ活動の発表を行った。

別会場で開催したサイエンスコミュニケーション研究会サングラスによる幼児・小中学生を対象にした科学体験イベントが人気を集めた他、大学の教育、研究、活躍する学生・卒業生等を紹介する大学資料展示も行った。

(3) Webカメラを利用した講座の実施

- ①日時 第1回：2019年10月31日（木）19時～20時
第2回：2019年11月20日（水）19時～20時
第3回：2019年12月5日（木）19時～20時
- ②場所 土庄町域学連携交流施設「夢すび館」（第1回及び第2回）
土庄町総合会館（フレトピアホール）（第3回）
- ③参加者 25人
- ④講師 現代社会学部 教授 濱野強
- ⑤内容

講座は、2019年10月31日（木）、11月20日（水）、12月5日（木）の全3回で、第1回及び2回については大学と土庄町域学連携交流施設「夢すび館」をスカイプでむすび実施、第3回は大学側が土庄町総合会館に赴き対面式で実施、25人が参加した。

講座内容は、全3回の共通タイトルを「最新の知見から健康長寿を考える：インターバル速歩の視点より」として、現代社会学部 濱野強教授が講師となり各回のテーマについて講義した。第1回は「インターバル速歩で健康長寿」と題し、健康長寿のためのトレーニング法（インターバル速歩トレーニング）について、その効果をウォーキングと比較しながら解説した。また、高齢化が進んだ地域での取り組みを紹介した。第2回は「健康長寿に影響を及ぼす5つの要素」と題し、最新の知見により明らかになった健康長寿に影響を及ぼす5つの要素をわかりやすく解説した。また、インターバル速歩が健康増進に最も効果的な取り組みとなるためのヒントを伝えた。第3回は「インターバル速歩をマスターしよう」と題し、これまでの講座で開設した内容について復習を行うとともに、実際にインターバル速歩を参加者に体験してもらい、姿勢や歩くスピードについて解説をした。

(4) 添付資料

- (1) 平成30年度特定健康診査 案内チラシ
- (2) 京都・土庄むすびわざ大学参加者アンケート

以上

【参考：京都・土庄むすびわざ大学の様子】



▲山田教授による講演会



▲ユーモアを交えながら講演する山田教授



▲現代社会学生によるゼミ発表の様子



▲大学資料展示コーナー



▲科学体験：片栗粉と水で
固体？液体？不思議な現象
を楽しむ小学生



▲科学体験：空気砲で遊ぶ子ども

【参考：Web カメラを利用した講座】



▲スカイプでむすんだ講座の様子①



▲スカイプでむすんだ講座の様子②



▲インターバル速歩体験の様子①



▲インターバル速歩体験の様子②



▲インターバル速歩体験の様子③